ウィングヤマグチ

偏視覚レンズで新たな鳥害対策

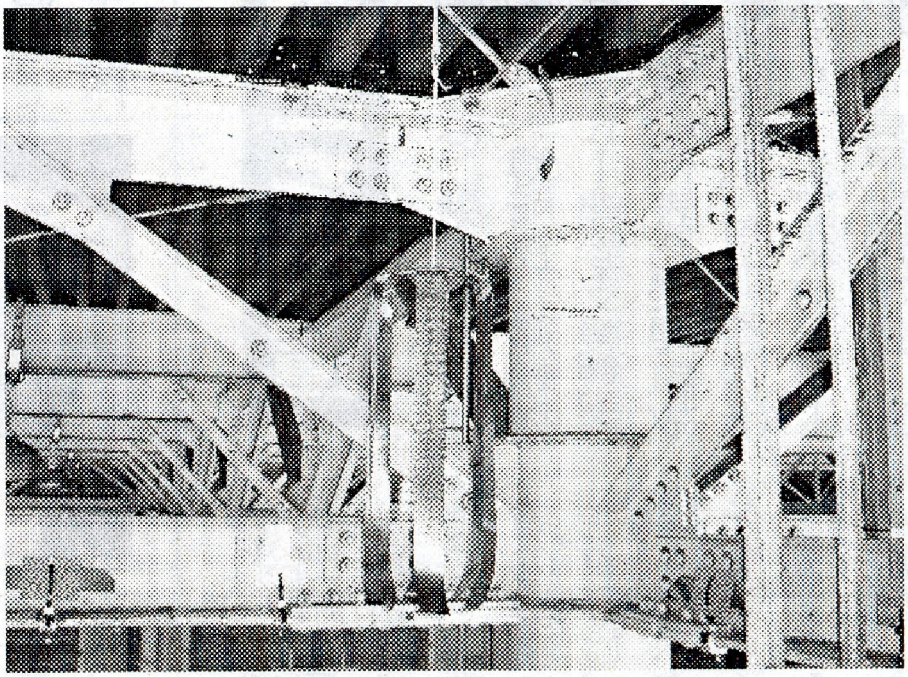
「撃退ドットマン」を開発

視覚を混乱させ近寄らせない

物流センターや倉庫などで、糞害・騒音被害などの鳥被害に頭を悩ませている運送事業者も多い。ウィングヤマグチ（福岡市中央区）では、鳥が行動するうえで、その80％を頼ると言われている視覚を混乱させる鳥害対策商品「撃退ドットマン」を開発した。

鳥害対策はネットや剣山などで物理的に鳥を排除する方法が主流だった。しかし、鳥の執着心は強く、一度住み着いた場所には何としても帰ってこようとし、追い出すには相当の忍耐力が必要になる。

同社は偏視覚レンズを用い、鳥の最も敏感な視覚を混乱させ、被害場所に近寄らせないことで鳥害を抑制する。道路高架下や倉庫での取り付けおよび検証を繰り返した結果、設置した当日から効果抜群という評価と効果継続を認識できた。また、鳥インフルエンザなどの鳥がもたらす健康被害を防ぐことにもなり、工場や住宅などの維持管理に役立てられる。



同製品は、電力会社や通信会社の営巣、騒音対策に採用されており、今後は倉庫や工場、道路や鉄道などに広げて行く予定。国交省新技術システムやNEXCO総研新技術、首都高速新技術などに登録済み。

（天野由佳梨）